

大規模地震に伴う水道水の濁りについて

大規模な地震が発生した場合、水道管内部が急激な水圧・水量等の変化により、配管の錆などが流れ出して、一時的に「濁り水」が発生することがあります。

大規模な地震が発生した場合、念のため、使用する前に、濁りが生じていないか確認をお願いいたします。

- ・コップ等に水を取ったときに、明らかな濁りを確認した場合、飲用や洗濯は控えてください。
- ・濁りは、水を出しっ放しにすることで、元のきれいな水に戻る場合があります。
- ・出した水は、水まきなど飲用以外で有効に活用してください。
- ・同じ地域の方の濁りが解消しても、なお、濁りが継続し、赤茶色の水が出る場合などは、宅地内配管の破損による濁りの可能性があります。

※ 地震等の影響により、水道水が出ない場合や濁りにより、飲用できない場合に備え、日頃から水の備えをしておきましょう！

裏面に、災害に備えての水の備蓄の情報を掲載しています。

裏面へ

問合せ先

志布志市役所 水道課 総務経理グループ

TEL 099-472-3761 (内線 181・182)

台風・地震などの災害に備えて水の備蓄を！

飲料水等の備蓄

台風・地震などによる災害発生に備えて、ご家庭での飲料水、生活水の備蓄をしていただきますようよろしくお願いいたします。(飲料水については、1人1日3リットルが必要とされていますので、家族の人数分を3日分程度、備蓄しておきましょう。) 例：4人家族 3リットル×4人×3日分 = 36リットル

水道水の保存期間

- ・直射日光を避けて涼しい場所に保存すれば3日間程度
- ・冷蔵庫に保存すれば7日～10日間程度
- ・保存期間が過ぎたら、洗濯や掃除等に使用してください。

水道水の保存方法

- ・ポリタンクやペットボトル等を使用する場合、水道水できれいに洗浄し、空気が残らないよう水道水を満たし、蓋をしっかりと閉めてください。(ポリタンクは大きすぎると持ち運びにくくなります。)
- ・浄水器を通したり、沸かしたりすると、消毒用の塩素が除去されますので、水道水を保存される場合は、ご注意ください。
- ・保存した水道水を飲む場合は、雑菌が入らないよう、コップ等に注いでから飲んでください。

生活水の備蓄

台風・地震等の影響により、水道が使用できなくなり、生活に支障をきたすことがあります。飲料水のほかに、トイレ・洗濯・掃除等に係る生活水の備えも必要となりますので、ポリタンクを用意したり、お風呂に水を張っておくなど、日頃からできる限り備えをしておきましょう。